



## 愈々始動 新病棟着工へ

機能訓練棟前にできた仮囲いと機能訓練室へ改修中の10病棟内部（6月中旬）

4月より待ちに待った新病棟建築の工事が始まっています。仮囲いが出来て、工事事務所も設置されました。旧10病棟へのリハビリの仮移転、リハビリ棟の取り壊しと進み、本稿が皆様の目に触れる7月には、建築予定地（旧リハビリ棟）の整備も出来て、起工式を行うことになっています。工事が順調に進めば、年末には5階建ての姿が見えるようになり、その後内装工事などを行い、来年7月から新病棟の運用が開始になります。

愛媛病院は創立以来73年の歴史がありますが、長かった療養所時代の歴史にわかれを告げ、新しい時代になる必要があります。2階建てしかなかった今までと比べて、5階建ての新病棟は新しい時代のシンボリック的存在になります。新病棟では、結核病棟はなくなり、呼吸器病棟の中にユニット化されることも時代の変化を象徴していると思います。そして新しい手術室2室も新病棟内に出来ます。古くなっていた手術室からより良い条件の手術室

になり、多くの手術が出来るかと期待されます。リハビリ室も5階に移り、気持ち良い環境でリハビリをしていただけたと思います。

当院の歴史をみると、いわゆる政策医療としての結核医療、重症心身障害児（者）医療が病院の大きな支えになってきました。しかし、結核病棟はユニット化になり、障害者病棟は療養介護への移行で転換期を迎えています。今後政策医療として神経難病病棟の一層の充実が望まれます。そして新病院で最も大切なことは、新しい病棟を足がかりとして地域医療としての一般急性期医療を当院の要にしていかなければなりません。一般病床の医療の充実のため、今後看護体制の充実など検討しています。今までの愛媛病院から新しい姿の医療施設へのステップアップが求められており、新病棟完成がその第一歩になることを期待しています。

院長 岩田 猛



# 着任のご挨拶

事務部長 山本 美二

このたび4月1日付けで東徳島医療センターより、着任いたしました事務部長の山本です。私は旧国立松山病院（現在の四国がんセンター）で採用され、昭和61年3月の高知病院への転任を皮切りに、香川小児病院、四国地方医務支局、善通寺病院、四国厚生支局、東徳島医療センターなどで仕事をさせていただき、26年ぶりに愛媛に帰ってまいりました。

愛媛病院は初めての勤務地ですが、赴任後病院周辺を散策しますと非常に懐かしい思いに駆られます。それは愛媛病院の隣接地にあります東温高校が私の母校であり、病院周辺の横河原には青春時代の思い出がたくさんあるからだと思えます。

東温高校の在学中に愛媛大学医学部附属病院の建設が始まり、入学当初の学校の周りは田畑ばかりだったのが、見る見るうちに整地されていったことが思い出されます。

さて、当院は今年度の病院目標として、「安定した病院運営の確立」を掲げております。

愛媛病院では、政策医療（結核を含む感染症、神経難病、重症心身障害の専門医療施設）と一般医療（呼吸器、循環器、消化器・糖尿病、神経内科、外科、

整形外科等）の二つの医療を柱として運営しているところです。

「安定した病院運営を確立」させるために、一般医療を充実させ、地元医師会や愛媛大学病院及び四国がんセンターとの連携強化を図り地域医療に貢献できるように、医療スタッフの皆様を微力ながらサポートしていきたいと考えております。

また、当院では今春より来年夏の完成に向けて新病棟の建替整備工事が着工しております。地上5階建ての建物ですが、1階から4階までが病棟（1階部分に薬剤部門含む）で、5階に手術室、中央材料室、機能訓練室、言語療法室を設置する予定です。新しい病棟では患者さんから要望の高い個室を増やすなど治療環境の向上に努めたいと考えております。

今後、愛媛病院職員の一員として、当院の基本理念であります「信頼される医療の提供」「働きがいのある病院」を目指し、患者さんは元より地域の皆様にも信頼され地域に根ざした医療を行い、さらに発展するよう、尽力していきたいと考えておりますので、どうぞご指導ご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。



今年の4月よりお世話になっております、加藤丈陽（たけあき）と申します。出身地は港町今治ですが魚介類、特にサザエの壺焼きが苦手です。愛媛大学で2年間研修後、田舎が大好きなので西予市立野村病院で自然に埋もれながら3年間働

いた後、こちらにやってきました。

どうして医者になったのか、その経緯を説明させていただきます。私は小さい頃、なってみたい職業が3つありました。①電車の運転手、②道路工事をする人、③医者です。①になりたい！と思ったのは、踏切が大好きだったからです。しかし親に電車の図鑑を買ってもらったとき、「なんと沢山、信号機のパターンや電車の名前など運転手さんは覚えなければいけないのだ、こんなに覚えられない」と思って諦めました。②に惹かれたのは削岩機で道路に穴を開けているのがとても楽しそうに見えたからでした。しかし夏場に暑さで倒れそうになりながら働いているのを通りすがりにみて「これは思ったより大変そうだ、体力にも自信ないからこれはできそうにない」と思って残りの選択肢となりました。③の選択肢が出現したのは父親が医者だった影響です。あ

# どうぞよろしく

神経内科 加藤 丈陽

まり深く考えず他の選択肢もなかったのになんてはみたものの今となっては良い職業につけたものだなあ、と親に感謝している次第です。

転動してまだ2か月ですが愛媛病院は科が沢山あるにもかかわらず非常に垣根が低くて居心地が良いです。各分野のエキスパートの先生たちがたくさんいるにも関わらずアットホームな雰囲気楽しく過ごさせてもらっています。勉強会に誘ってくれたり手技に参加させてくださり感謝しています。この機会を生かして頑張って成長したいと考えています。

現在は神経内科で働かせてもらってはいるものの、分からないことばかりで実はこっそり橋本医長に全件、電話で指示を仰ぎながら仕事に携わらせていただいております。ここに来て神経疾患の患者さんは診断した後のフォローアップがいかに大切かということが少しずつ分かってきました。今まで一般内科として3年間過ごしてきただけなので的確な診断が一人でできなかつたり、時間がかかったりして少なからず迷惑をかけてしまうと思いますが一生懸命頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。



890万、1320万。この数字は何かご存知ですか？「糖尿病が強く疑われる人」が890万人、「糖尿病の可能性を否定できない人」が1320万人という数字です。糖尿病ははじめのうち痛みなどの自覚症状がなく、検査で血糖値が高かったり、治療が必要と言われたことがあっても、そのまま治療を受けない人もたくさんいます。

しかし、「し・め・じ」と言われている、合併症が大きな問題になっています。「し」は、糖尿病性神経障害、「め」は糖尿病性網膜症、「じ」は糖尿病性腎症、などがあり、注意が必要です。また、脳梗塞、心筋梗塞、末梢血管障害などの大血管障害をおこす危険性もあります。激増する糖尿病患者さんに対応するには、それぞれの職種が専門性を生かしたチームで関わることの有効性が言われています。

このような中、当院にも糖尿病専門医の山内一彦先生が平成23年4月より着任し、糖尿病チームが立ち上がりました。医師、事務、薬剤師、理学療法士、栄養士、検

みんなで  
まなぼう

## 糖尿病教室

査技師、MSW、看護師など、各専門分野のスタッフがチームを組んでいます。このようなチームで各専門の知識を生かし、第1回の糖尿病教室を2月に開催しました。第1回は「糖尿病について」、5月25日の第2回は「糖尿病と合併症について」をテーマに行いました。参加していただいた方に感想を伺うと、「講演は非常に役にたった。膝が悪いので、運動はできないと思っていたが、座って行える運動を実際に一緒に教えてもらいながら行い、是非自宅でも実践してみようと思う。」「2回目からの参加になったが、次も是非参加したいと思う。」など、チームにとってもうれしいご意見をいただくことができました。

教室は、私たちが講演を行うだけでなく、皆様の情報交換の場所であったり、病気を一人で抱えるのは難しい、みんなも頑張っている、同じ仲間が集まることで支えあったりできる場所であればいいなと思っています。

第3回は7月27日の予定で外科医師による「足の病気あれこれ」をはじめ、薬剤師による「糖尿病内服薬について」、理学療法士による「運動のコツ」という講演を予定しています。第4回は11月2日で、糖尿病デーにあわせて少しスタイルを変えて行おうと考えています。申し込みをしていただければ、どなたでも参加できます。是非、糖尿病が気になる方、ご家族に糖尿病の人がいる方はお気軽にのぞいてみてください。糖尿病チームが一丸となって皆様をサポートします。

看護師長 島田由美子



「糖尿病と合併症」について話をする  
永利臨床検査技師

## 5/12 看護の日

### 今年も隻手薬師で

5月12日は、フローレンス・ナイチンゲールが誕生した日で、看護界では、この日を「看護の日」と定めています。毎年、様々な病院で看護に親んでもらおうと多彩な取り組みが行われています。私たちの病院でも、愛媛病院から車で5分のところにある香積寺（隻手薬師）の敷地の一角をお借りして、健康相談を行ってきました。毎月12日は、お寺の縁日があり参拝客が大勢お参りに来られます。私たちがここで健康相談を開始して今年で13年目となりました。

今年は5月12日が土曜日ということもあり、去年の参加者を50名も上回る168名の方が立ち寄ってくださり、



お坊さまも健康手エツク



血圧測定や体脂肪・骨密度測定を実施し、健康相談を行いました。「血圧の薬は毎日飲んだ方がいいのですか」「愛媛病院には行ったことがないけどどんな先生がいるんですか」「母が入院していた時お世話になりました」「愛媛病院って、どこにあるの？」などの会話の合間に、今年は、平成25年度新病棟完成予定写真をいれたポケットティッシュを配布しました。

私は今年で2回目の参加ですが、来てくださった方の中で、とても印象に残った方がいらっしゃいました。その方は、「去年は雨だったのでこれなかったんですけどね…」とカバンの中から、私たちが作った健康手帳の束を出して見せてくださいました。「毎年ここで身体測定をしてもらうことを楽しみにしている。データの比較もしている。」と笑顔で話してくださいました。大切に健康手帳を持っていただき、この日を覚えて持参してくださいましたことに感激しました。最近では、家庭でも簡単に血圧測定ができ、病院で適切な治療を受ける事ができる時代ですが、毎年、縁あって隻手薬師で会える事こそが「健康である」と感じた一日でした。

看護師長 木元 幸子



# 医療の輪



## 中川内科

### 繋がる地域医療連携

当地にて昭和58年に開業し、今年で29年目を迎えました。  
地域の「かかりつけ医」として皆様の健康に少しでも貢献できたらと考え、微力ながらこれまで診療を行って参りました。  
昨年4月からは医師が2人となり、外来診療に加え新たに在宅診療も開始いたしました。さまざまな訪問看護ステーションの方のご協力をいただきながら、砥部町や松山市南部の寝たきりの方や緩和医療中の方などに訪問診療を行っております。  
愛媛病院の先生方には、精査の依頼や入院のお願いなど、いつも大変お世話になっております。病診連携におきましても、診療所としてお役に立てることがございましたら、お気軽に声をかけてくだされば幸いです。  
これからもよろしくお願いたします。



施設名 中川内科  
住 所 伊予郡砥部町高尾田51番地  
TEL 089-956-0600  
FAX 089-956-1824

医師 中川 和彦・中川 博道  
診療科目 内科・外科  
診療時間 午前9:00~12:30 午後2:30~6:00  
土曜日は午前のみ  
休診日 日曜日・祝祭日

## SECOND GRADUATE ピンクストラップ卒業

みなさんは、名札のストラップの色が各職種によって違っているのをご存知ですか？  
たとえば看護部は赤です。しかし新採用者は職種を問わず全員ピンクのストラップです。これはまだ病院に慣れていないので、みなさんやさしく教えてください。という意味の謂わば初心者マークです。  
平成23年度の新人看護師12名はそろって2年目を迎えました。3月29日各病棟師長や病棟のスタッフが個人個人に対して、1年間で成長したことや、頑張ったことを「成長の証」として、各自に赤のストラップとともに授与しました。

看護師は卒後5年間各段階に応じて教育計画が組まれています。新人も、基礎技術Ⅰ、Ⅱ、振り返り研修、医療安全研修など、年間計画に沿って実施しました。  
初めての技術研修では手が震え、なかなか注射液の吸い上げができなかったり、3か月振り返り研修では、夜勤への不安や自信のなさ思わず涙ぐむ姿もありましたが、各病棟のプリセプターを中心とした支えにより、1年後の看護観では、患者さまとの関わりの中で、患者さま、ご家族に寄り添うことの大切さや、信頼されるように日々、知識・技術の自己研さんをしていきたいなど、看護師として大切にしたいことなどがまとめてありうれしく思いました。

各病棟1~2名の配置であり、病棟で支えられながら、確実に成長してこれたのだと感じています。後輩を迎え一つお姉さん(お兄さん)になった姿はたくましくも感じます。記念写真はとびっきりの笑顔です。これからも1年1年確実に成長していければと感じています。



教育担当師長  
松尾 弘美

## 咲いた 咲いた

昨年の秋、療育指導室では、「春を楽しもう」と患者さんと一緒にチューリップの球根を植えました。場所は日当たりのよい療育訓練棟横の病棟跡地です。患者さん一人につき球根1つを植えて名札を付け、チューリップが咲きそろうと、ニコチャンマークになるように植えました。患者さんは、球根をギュッと握って感触をたしかめてみたり、掘った穴に球根がうまく入るよう何度も投げ入れたりして、楽しみながら植えることができました。「チューリップはまだ芽を出していないかな」「ぼくのは大きく育つか」と病棟でも話が弾み、自分が植えた球根が芽を出すのを、いまかいまかとワクワクしながら待っている様子でした。

そして、この4月、寒くて長い冬に耐えながら待った甲斐もあり、かわいらしいチューリップが咲きそろいました。赤、黄、ピンク、紫の花が、早く咲いたり遅く咲いたり、大きかったり小さかったり、患者さんと同様に個性豊かな表情を見せながら、大きなニコチャンマークを完成させました。

残念ながら、病棟の一部の患者さんしかニコチャンマークを見ることができなかったため、摘み取って手作りの花瓶に入れて病棟へ持ち帰り、見てもらうこととなりました。一目見て「チューリップ!!」と声を上げてくれたり、興味津々で思わず手を伸ばしてみたり、春らしいチューリップの登場に嬉しそうな様子でした。色とりどりのチュー



リップと一緒に記念撮影を行い、みなさん花に負けない笑顔を見せてくれました。今後は夏、秋にもご期待ください!

児童指導員  
寺田 恭子

# 医療安全管理室 だより

②こんなことしています

## メンバーチェンジのお知らせ

4月1日より医療安全管理係長を拝命しました近藤ヒロ子と申します。あらためましてどうぞよろしくお願ひいたします

す。昨年、5年間の呉医療センターでの単身生活を終え、当院の1病棟・ICUに戻ってまいりました。そこでは、常に患者様に寄り添う先生やスタッフの方々に支えられ充実した1年でした。

今回、今までの病棟勤務とは全く違った部署で、しかも医療安全管理者という大変責任の重い位置でスタートしたところです。ありがたいことに、当院においては、院長はじめ組織として医療安全に取り組む環境が構築されております。私は、「そこで何をなすべきか、何ができるのか」、日々悩ましい気持ちで第一歩を踏み出しましたが、現実にはゆっくり考えて行動するという余裕はありません。

この1か月余りで感じていることは、ヒューマンエラーはゼロにはできないが軽減することはできる、そして人間は間違いを起こす生き物であるからこそ、予防策や万一の事後対応が重要であるということです。更に、万一事故が起きてしまった場合、犠牲者となるのは患者(家族)様、そして同時に医療者でもあるということです。

特に患者(家族)様は、①事実が知りたい、②ミスは謝罪してほしい、③二度と同じ過ちは起こしてほしくない、というのが一番の願ひではないでしょうか。これは、医療安全管理者として永遠の課題と考えています。

医療安全管理者として何をするかではなく、目の前の事象に対し誠実に着実に一つずつ取り組んでいこうと思います。難題も多いかと思いますが、皆様のご理解とご協力で乗り越えていきたいと思っています。①うそをつかない医療、②患者(家族)様・医療者の辛さに寄り添う姿勢、③ヒヤリ・ハット事例を事故防止につなげる対策の実施、この3つを目標に、一歩ずつ前進してまいりたいと思っております。

不束者ですが…



## しきさんさん 四季燦餐 水分補給の巻

今回より四季燦餐を担当します三代目 東温子(ひがしあつこ)と申します。よろしくお願ひいたします。

日ごとに暑さを感じる季節となりましたが、いかがが過ぎでしょうか。

猛暑と言われる年には、'熱中症'や'脱水症'の話題をよく目にされることと思いますが、水分をきちんととって脱水症を予防しましょう。

### 【水分をきちんととるためのポイント】

大量の汗をかき、水分の補給が追いつかないと、からだの中の水分が不足し'脱水'がおこります。倦怠感・頭痛・めまい・吐き気などの症状が出る場合がありますので、**こまめに水分補給**を行うことが大切になります。

### ☆人間のからだの半分以上=水分

普通に食事や水分がとれていれば、1日に約2リットルは摂ることができるので、OK!

⇒**食事量が少ない時は、水分量のチェックを!**

※通常よりもこまめな補給を心がけましょう。

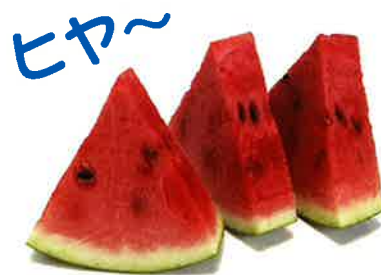
通常の水分補給は、お茶やお水で十分ですが、スポーツなどたくさん汗をかいた時、また、発熱・頻回の下痢などの体調不良時には、市販のスポーツドリンクを利用するのもよいでしょう。

水分でムせる場合は、トロミ剤を利用したり、ゼリータイプのものを選択されるのも一つの方法です。

また、夏の代表的なフルーツといえば'すいか'ですが、すいかには、水分・糖分・ミネラルがたくさん含まれています。

食欲のない時には、冷たくひんやりとしたすいかはいかがですか。

(注) 治療中の方で、糖分・水分・カリウムなどの制限が必要な方は、主治医に確認をされることをおすすめします。





# る~き~ず '12

今年も10名のフレッシュな新卒者が採用になりました。愛媛病院の明日を担うホープたちに意気込みや目標をひとつずつ語ってもらいました。

双葉を出したばかりの彼ら彼女らですが、やがて大きな枝葉を広げ愛媛病院を支える幹になってくれることと思います。今後の成長にご期待ください。

1病棟  
看護師

上田恵莉子



先輩の良い所をたくさん吸収して、患者様に寄り添った看護ができるよう、頑張ります。

2病棟  
看護師

梅木 亜耶



少しでも多くの視点から患者さんを捉え、正しい知識・技術を用いて信頼される看護師になりたいです。

管理課  
給与係

大内沙弥香



自分の仕事を全うすると共に、世の中のことを学んでいかななくては！と思っています。よろしくお願いします。

管理課  
庶務係

岡崎 亮



初めまして、私は管理課で庶務係をしています。初めてのことで戸惑っていますが、一生懸命頑張ります。

5病棟  
看護師

楠崎麻友美



まだまだ分からないことだらけですが、早く仕事を覚えて少しずつ自分でできることを増やしていきたいです。

5病棟  
看護師

関岡 未菜



毎日たくさんのかんごを吸収できて、とても充実しています。いつでも笑顔で明るく頑張りたいと思います。

6病棟  
看護師

土居 良美



今は毎日いっぱいいっぱいですが、チームの一員として、温かく個別性のある看護を行えるよう頑張ります。

3病棟  
看護師

中川 奎子



病棟に入ると、分らない医療用語ばかりですが、一つ一つ解決し、それを自分の知識にしていきます。

理学療法室  
理学療法士

中嶋 瞳



理学療法士として働くことになりました。中嶋瞳です。常に笑顔で頑張っていきます。よろしくお願いします。

1病棟  
看護師

宮内 雅史



毎日が緊張の日々で、まだまだ未熟ですが、これから多くの経験を重ね、日々成長し続ける看護師を目指します。

# 看護学校の頁 ～学び舎から～

## 第11回入学式



入学式は、新しい環境への不安と緊張の1日でした。あまり知り合いがない中で、学生生活のスタートは不安でした。しかし、今は優しい先生方や先輩方のサポート、とてもなじみやすい同級生みんなのおかげで充実した学生生活が送れると確信しています。これからの3年間はいろいろな苦難があると思いますが、同じ夢を持つ仲間とともに助け合いながら努力していきたいと思っています。

今まで学習することがなかった看護学の授業はとても難しい内容ばかりですが、講義を聞くとてもためになることばかりです。一つ一つの講義を大事にして、将来看護師になった時に役に立つように身に付けていきたいと思っています。

5月から基礎看護学の校内実習が始まりました。今までは看護師の方が簡単に行っていると思っていたことが、自分でしてみると予想以上に難しく大変さを実



感じています。1月にある臨地実習のためにも、専門的知識・技術を正確に身に付け、その人らしさを支援できる看護師を目指して努力していきたいと思っています。  
(第11期生) 相原 琴子

## 看護学生募集

看護の道を私たちと一緒に目指してみませんか。  
入学試験の概要は下記のとおりです。詳細は看護学校へお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

	推薦入学試験	社会人入学試験	一般入学試験
募集人員	15名程度	5名程度	20名程度
出願期間	平成24年10月15日(月)～11月1日(木)		平成24年12月12日(火)～12月27日(木)
試験日	平成24年11月14日(火)		平成25年1月23日(火)
試験科目	学科試験：数学Ⅰ 英語Ⅰ・Ⅱ 小論文 人物考査：面接	学科試験：英語Ⅰ・Ⅱ 小論文 人物考査：面接	学科試験：英語Ⅰ・Ⅱ 数学Ⅰ 国語総合(古文・漢文除く)・現代文 人物考査：面接
合格発表	平成24年11月29日(木)		平成25年2月6日(火)

<お問い合わせ先> 〒791-0281 愛媛県東温市見奈良1545-1 国立病院機構愛媛病院附属看護学校 入学試験係  
Tel 089-990-1830 ホームページ <http://www.ehime-nh.go.jp/school/>



# 看護師募集



当院では病棟建て替えに伴い、看護体制の見直しを行い看護職員の大幅増員を図っています。あなたのスキルとキャリアを当院で活かしてみませんか？

詳細は当院ホームページ (<http://www.ehime-nh.go.jp>) または独立行政法人国立病院機構中国四国ブロック事務所リクルート情報サイト (<http://nho-chushi.jp/recruit/>) をご覧いただくか、直接当院にお問い合わせください。【Tel 089-964-2411代表 担当者：管理課庶務班長 菅英樹(かんひでき)】

**募集人員** 40名程度  
**応募資格** 看護師免許取得者または平成25年3月取得見込み者

**応募方法**  
**免許所持者**  
履歴書(指定様式・ダウンロード可)・免許証の写し・養成機関の卒業証書の写しまたは卒業証明書。  
返信用封筒(長型3号)に住所・氏名を記入し380円切手を貼ったものを同封してください。  
※受験票・合否通知書の発送に使用します。

※「ちょっと言い放し」は休載いたします。

### 平成25年3月卒業見込み者

履歴書(指定様式・ダウンロード可)・在学中の養成機関の成績証明書・卒業見込証明書・既得の免許証(該当があれば)の写し  
返信用封筒(長型3号)に住所・氏名を記入し380円切手を貼ったものを同封してください。  
※受験票・合否通知書の発送に使用します。

**提出期限** 平成24年8月3日(金)必着

### 給与・福利厚生等

独立行政法人国立病院機構発行の「けっこういそNHO」をご参照ください。(送付可)

### 看護職員教育システム

国立病院機構の看護職員能力開発プログラム「ACTYナース」を基本に、愛媛病院看護部オリジナルの教育システムで丁寧に指導し、成長を支援します。  
厚生労働省の「新人看護職員研修事業」も利用し、一人ひとりを大切に育てています。

新病棟開設を機に一般病棟入院基本料を10:1から7:1取得に向け奮闘しています。

新しい環境の中で、ぜひ一緒に看護の道を歩みませんか。





# 外来診療担当医表

内科外来直通電話 089-990-1834 FAX 089-990-1858  
 外科外来直通電話 089-990-1835 FAX 089-990-1859

診療科	月	火	水	木	金	
内科	循環器	岩田 船田	船田(午前) 藤田・藤井(午後)	藤田	岩田	船田
	消化器	古田	山内(一)	久保	山内(一) 糖尿病専門	久保
	呼吸器	阿部	市木 渡邊	佐藤	阿部 植田	市木
	神経	橋本	加藤			戸井
専門外来 (完全予約制)	心臓リハビリ 藤田	心臓リハビリ 藤田	心臓リハビリ 船田	心臓リハビリ 船田	心臓リハビリ 藤田	
		SAS外来 渡邊 (14時~16時再診のみ)	ペインクリニック 山内(康)	ペースメーカー外来 第2・4(午後)	糖尿病外来 古川(第2・4)	
	SAS外来 渡邊 (14時~16時再診のみ)	スキンケア外来 第1・3(午前)	SAS外来 植田(午後)	フットケア外来 毎週	じん肺外来 西村(第1・3)午前	
		アスベスト外来 (13時~16時)	神経難病 橋本	アスベスト外来 (13時~16時)		
外科		鈴木		渡部 (隔週・午前)	湯汲	
				澤田・末久 第1(15時~)		
整形外科 午前のみ診療	横手	曾我部	横手	宮本	宮本(第2・4)	
	宮本		曾我部		曾我部(第1・3・5)	

※外来受付は午前8時30分から午前11時までです。ただし、土・日・祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。 2012年7月1日現在  
 ※容体急変の心臓疾患・急性呼吸不全の患者様は24時間受け入れます。  
 ※SAS(睡眠時無呼吸症候群)

## 独立行政法人国立病院機構 愛媛病院

〒791-0281 愛媛県東温市横河原366 TEL 089-964-2411 FAX 089-964-0251  
 ホームページアドレス <http://www.ehime-nh.go.jp>

### 当院の位置と交通



#### 高速道路川内ICまでの所要時間

- 三島川之江IC(70km) 50分
- 高松西IC(130.9km) 1時間30分
- 徳島IC(170.9km) 1時間50分
- 高知IC(130.1km) 1時間30分  
(川内ICから当院まで車で5分)

#### 交通機関

- 電車 伊予鉄高浜横河原線横河原駅下車徒歩7分  
または、愛大医学部南口駅下車徒歩3分
- バス 伊予鉄松山市駅川内方面行横河原下車徒歩10分  
松山市から30分 伊予市から40分 西条市から60分
- 自家用車 無料駐車場完備